

○調査結果の概要

1. 貿易企業の概要

・貿易実績のある企業 187 社

2015年(暦年)における輸出企業は144社(前年140社)、輸入企業は107社(同111社)、これらのうちで輸出入ともに行っている企業は64社(同68社)で貿易企業は187社(同183社)となった。

所在地別では、松江市が64社と最も多く、続いて出雲市46社、浜田市18社の順となった。

2. 貿易実績

・島根県の2015年貿易額は、前年比2.3%減の3,740億1千万円

県内企業の2015年(暦年)の貿易額(輸出入額)は3,740億1千万円(前年3,826億9千万円)であり、前年比2.3%の減少となった。

なお、同年の日本の貿易額(154兆195億円、前年159兆21億円)は前年比3.1%の減少となっている。

県の輸出入バランスは、輸出額2,294億6千万円(前年2,173億5千万円)に対し、輸入額は1,445億5千万円(前年1,653億4千万円)となっており、849億2千万円の輸出超過(前年は520億円の輸出超過)となった。なお、日本の同年輸出額は75兆6,139億円、輸入は78兆4,055億円と2兆7,916億円の入超である。

(1) 輸出の実績

・輸出額は前年比5.6%増、市場別ではアジアに24.5%、ヨーロッパに16.8%

2015年(暦年)の県内企業の輸出額は2,294億6千万円(前年2,173億5千万円)であり、対前年比5.6%増加となった。なお、日本全体では前年比3.4%増であった。

輸出品目別では、「機械、電気機器及び同製品並びに部分品」が1,432億5千万円(構成比62.4%)と最も多く、次いで「卑金属及び同製品」が422億3千万円(同18.4%)となっており、両品目で輸出全体の80.8%を占めた。

輸出を地域別にみると、アジアが561億1千万円(同24.5%)、ヨーロッパが385億円(同16.8%)、北アメリカが238億4千万円(同10.4%)となっており、この三地域で全体の51.7%を占めている。国別輸出額で見ると、1位ドイツ(同12.0%)、2位アメリカ(同9.3%)、3位中国(同6.5%)、4位韓国(同5.4%)、5位シンガポール(同2.2%)となっている。

輸出形態では、間接輸出が1,836億7千万円(構成比80.0%)、直接輸出が455億8千万円(同19.9%)となっており間接輸出の割合が高くなっている。

輸出の積出港をみると、最も多かったのは関西地域で全体の39.2%、次いで関東地域が11.0%と続いている。なお山陰地方の港の積出は、浜田港0.5%、境港0.1%となっている。

(2) 輸入の実績

・輸入額は前年比 12.6%減、輸入全体の 55.8%が機械、電気機器及び同製品並びに部分品

2015 年（暦年）の県内企業の輸入額は 1,445 億 5 千万円（前年 1,653 億 4 千万）であり、対前年比で 12.6%の減少となった。なお、日本全体では前年比 8.7%の減少であった。

輸入を品目別にみると、「機械、電気機器及び同製品並びに部分品」が 806 億 9 千万円（構成比 55.8%）と最も多く、次いで「鉱物性生産品」が 201 億 7 千万円（同 14.0%）、「卑金属及び同製品」が 111 億 2 千万円（同 7.7%）となっている。地域別では、アジアが 1,053 億 6 千万円（構成比 72.9%）と最も多く、オセアニアが 155 億円（同 10.7%）と続いており、両地域で全体の 83.6%を占めている。国別輸入額でみると 1 位中国（構成比 38.3%）、2 位オーストラリア（同 10.5%）、3 位フィリピン（同 6.8%）、4 位シンガポール（同 5.1%）、5 位タイ（同 4.9%）となっている。

輸入形態は、間接輸入が 1,090 億 4 千万円（構成比 75.4%）、直接輸入が 355 億円（同 24.6%）となっており、間接輸入の割合が高かった。

輸入を荷揚港別にみると、最も多かったのは関西地域で全体の 68.0%を占めた。なお、山陰地方の港の荷揚げは、三隅港 12.4%、境港 7.1%、浜田港 3.5%となっている。

3. 海外直接投資

・投資先は中国が全体の 43.6%

海外への投資案件は全体で 24 社 39 件となっており、投資先を国別にみると、中国 17 件、タイ 7 件、インドネシアとアメリカ合衆国が各 4 件となっており、件数比で中国が 43.6%、中国を含むアジアが 87.2%を占めている。

形態別では、独資 20 件、合弁 12 件、駐在員事務所 4 件、その他が 1 件となっている。

4. 外国企業との提携

・アジアの割合が全体の 79.3%

県内企業の外国企業との提携は全体で 26 社 58 件あり、提携先を国別にみると、中国が 13 件と最も多く、次いで台湾とベトナムが各 6 件、タイが 4 件となっている。地域別にみると、アジアが 46 件で 79.3%を占め、ヨーロッパが 6 件で 10.3%、北アメリカと南アメリカが各 3 件で 5.2%となっている。

形態別では、販売代理店契約 40 件、技術供与 11 件、委託加工貿易 7 件、技術導入 1 件となっている。